



中央公民館だより

「住民による主体的な活動の場」「みんなが気軽に集える場」

伝統芸能の継承「上羽太天道念仏踊り」

昭和50年に福島県重要無形民俗文化財として指定された「上羽太天道念仏踊り」は、地域の方をはじめ、羽太小学校の児童・教職員も誇りにしている伝統です。今年度も地域の皆様のご指導により、練習が始まりました。10月7日の学習発表会での発表に向け、3～6年生（32名）が心を一つにして一生懸命練習する姿は、『自ら育て：自主：自立』の校訓そのものです。

また、練習に先立ち出前講座「ふるさと西郷講座」では、生涯学習課の塩谷慎介課長補佐（学芸員）が、踊りの由来や歴史について6年生（11名）に講話をしました。地域の伝統芸能の継承は、どこの地域でも課題となっていますが、羽太小学校では、地域・行政と連携しながら、地域の伝統芸能を後世まで伝えようと取り組んでいます。



<ふるさと西郷講座>



<地域の皆様のご指導で練習>



活動成果の発表（にしごうまつり 8/27）

当日は、様々な団体によるステージ発表がありました。西郷村からも、公民館事業「西の郷少年少女合唱クラブ」と自主サークル「あぶくま源流太鼓」が出演しました。猛暑の中でのステージ発表ですが、子ども達は、これまでの練習の成果をたくさんの観客の前で、堂々と発表することができました。次の発表は文化祭芸能発表（10/22）になります。



<西の郷少年少女合唱クラブ>



<あぶくま源流太鼓>

図書室訪問(9/15)

川谷小学校の2年生が、生活科の一環で文化センター内の図書室を訪問しました。子ども達は、図書室の説明やボランティアの読み聞かせを聴き、実際に本も借りました。このように、各学校では授業の一環として、村の施設見学を行っています。



民俗資料館見学(9/22)

熊倉小学校の3年生が、社会科授業の一環として見学しました。生涯学習課の職員が3つの展示室ごとに説明をし、子ども達は展示室内の昔の資料や展示物に、とても興味を示していました。



地域学校協働活動本部事業（R5）

【学校支援事業】 → 中学校区のコーディネーターが学校からの要望に応じて地域ボランティアとの連絡調整を行い、学校の環境整備や体験活動等の学習支援を行っています。8～9月も、多くの地域の皆様にご協力いただき、各学校では、安全安心な環境のもと、充実した教育活動を進めています。



＜西郷二中：希望ヶ丘の草刈り（9/2）＞

下郷町との交流会（8/28）

西郷健康サロンでは、8月に下郷ふれあいセンターで、「西郷村・下郷町健康麻雀交流会」を実施しました。開会式では、下郷町の湯田教育長様から歓迎のお言葉をいただき、お互いの会長からも、お互いの交流を深めていくようあいさつがありました。昨年度に引き続きの交流会で、西郷村と下郷町との絆がさらに深まりました。



公民館事業アラカルト

わくわく探検隊（9/2） → 第4回目は那須町探検

村内の小学生を対象に、5回シリーズで実施しています。4回目は、那須平成の森、殺生石、那須ビジターセンターを見学しました。那須平成の森では、駒止の滝までハイキングを行い、那須の自然の中で様々な発見をすることができました。



人生楽園の旅（9/22） → いわき方面

22名が参加し、アクアマリンふくしま・いわきららミュージアムに行きました。参加者は、水族館の見学、魚料理メインの昼食、鮮魚の買い物で、楽しい一時を過ごすことができました。



地区集会施設出前講座 → 今年度は、新たな地区での出前講座が行われています。 心癒やされる音楽鑑賞会

熊倉コミュニティセンター（9/21）

熊倉地区で、ジャズ研究会の皆様による演奏会を行い、約30名が来場しました。ジャズのすばらしい演奏に、地区のみなさんが魅了されていました。



大平コミュニティセンター（9/26）

大平地区で、「チェロ鑑賞会」を行い、約30名が来場しました。地元チェロ演奏家の遠藤美歩様の演奏で、心が癒やされる時間を共有することができました。



文化協会加盟団体紹介

西郷村茶道会

昭和43年に発足し、昭和58年西郷村文化協会創立時より加入しており、長く古い伝統ある会です。主、客、相助の教えを厳粛に受け止め、お花を飾り、季節を感じ、お菓子とお茶をいただき楽しく稽古しています。



四季の会

6月の総合美術展や、11月の文化祭にも全員で参加しています。最近では、村外の美術展や交流展に参加する会員も増え、より一層、活動が活発になっています。去年からは「ぬり絵体験コーナー」を、文化祭のイベントの一つとして活動項目を増やしました。

